

科目名 「 歯科診療補助論Ⅳ 」

学年	学期	科目責任者
2	後学期	和田 由紀子
単位数	1	
学修目標 (GIO)	専門的な歯科診療の補助に対応するために必要な基本的知識, 技能および態度を身につける。	
担当教員	障害者歯科学 : *野本 たかと, *遠藤 眞美, *矢口 学 口腔外科学 : *濱野 美緒 クラウンブリッジ補綴学 : *内堀 聡史, *若見 昌信, *岩崎 正敏 *加藤 由佳子 学事委員 : *齋藤 真規 専任教員 : *和田 由紀子, *鷹巢 美香, *門脇 明美, *岡元 明菜	
教科書	前学期に準ずる。	
参考図書	最新歯科衛生士教本 『歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法』 全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 新・歯科衛生士教育マニュアル『歯科補綴学』佐藤亨他編集 クインテッセンス出版(株) 歯科衛生士口座『高齢者歯科学 第3版』全国歯科衛生士教育協議会 森戸光彦編集主幹 永末書店 最新歯科衛生士教本『障害者歯科 第2版』全国歯科衛生士教育協議会 医歯薬出版(株) 歯科衛生士講座『歯科衛生士のための口腔外科学』 古森孝英編著 永末書店	
評価方法 (EV)	講義は定期試験(80%), 実習は実習課題・履修態度等(20%)と合わせて総合的に評価する。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科衛生士の実務経験を活かし, 歯科治療における診療の補助について説明する。 歯科診療補助を行うにあたっては, 診療の流れに沿った補助内容を具体的に理解し, 自分自身がおかれた立場をわきまえ, 業務に携わる責任がある。 2学年ではさらに専門的な各診療科における歯科診療補助について学んでいく。 1学年で学んだ基本的な知識・技能・態度を繰り返し訓練し, 臨床実習とリンクさせて, 手技を高めてほしい。手技を得る科目であるため, 毎時間を大切に臨む必要がある。医療人として体調管理を行い欠席しないよう心がけること。原則として欠席した学生への補講は行わない。わからなかったことやできないことはそのままにせず, その都度解決できるよう積極的に質問すること。	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 10/3(月)	歯科診療時の診療補助 ～補綴診療①～	臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 補綴診療時の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・シリコン印象材の種類, 特徴を説明できる。 ・シリコン印象材の取り扱いができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間: 30分, シリコン印象材の種類・特徴について十分復習して実習に臨むこと。 復習時間: 30分, 各シリコン印象材の用途・取扱い注意点について復習のこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義・実習	*和田 鷹巢 *門脇 明美 *齋藤 真規

<p>第2回 10/17(月)</p>	<p>歯科診療時の診療補助 ～保存診療①～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 保存診療時の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 <input type="checkbox"/>酸化亜鉛ユージノールセメントの取り扱いができる。 <input type="checkbox"/>ストップング, 水硬性仮封材, サンダラックの特徴・取り扱いを説明できる。 <input type="checkbox"/>ブローチ綿栓の取り扱い, 器具の受け渡しタイミングよくできる。 【準備学修項目・時間】 予習時間: 30分, 最新歯科衛生士教本『歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法』該当箇所 復習時間: 30分, 実習課題で実習の復習を行う。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>*和 田 *鷹 巢 *門 脇</p>
<p>第3回 10/24(月) 第4回 10/31(月)</p>	<p>歯科診療の診療補助 ～補綴診療②～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 補綴診療時の印象採得の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・補綴診療の診療補助であるアルジネート印象採得を患者に配慮して実施できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間: 30分, アルジネート印象材を使った印象採得について復習のこと。 復習時間: 30分, 実習課題で実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*和 田 *鷹 巢 *門 脇 *齋 藤</p>
<p>5回 11/7(月) 第6回 11/14(月) 第7回 11/21(月)</p>	<p>歯科診療の診療補助 ～補綴診療③～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 プロビジョナルレストレーションの作製ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 1. プロビジョナルレストレーションの目的が説明できる。 2. プロビジョナルレストレーションの作製ができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間: 30分, 歯科補綴学講義で学んだプロビジョナルレストレーションについて復習のこと。 復習時間: 30分, 実習課題で実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習 *エポキシ模型フェーシングクラウン#11, フルキャストクラウン#46, ポリクラウン#11使用。</p>	<p>*内 堀 *若 見 *岩 崎 *加 藤 *和 田 *鷹 巢</p>

<p>第8回 11/28(月)</p>	<p>歯科診療の診療補助 ～補綴診療④～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 補綴診療時のプロビジョナルレストレーション仮着の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・テンポラリーパック, テンポラリーセメントの取り扱いができる。 ・模型上にてプロビジョナルレストレーションの仮着ができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間: 30分, 仮着材について復習のこと。 復習時間: 30分, 実習課題で実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習 *第7回までに作成したプロビジョナルレストレーション使用。</p>	<p>*和 田 *鷹 巢 *門 脇</p>
<p>第9回 12/5(月)</p>	<p>歯科診療の診療補助 ～補綴診療⑤～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 補綴診療時の合着の診療補助ができるようになるための知識・術能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・合着材の取り扱いができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間: 30分, 合着材について復習のこと。 復習時間: 30分, 実習課題で実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習 *乳歯冠使用</p>	<p>*和 田 *鷹 巢 *門 脇</p>
<p>第10回 12/12(月)</p>	<p>歯科診療時の診療補助 ～高齢者歯科～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 高齢者への歯科診療時の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・誘導介助がができる。 □車イス利用高齢者がユニット移乗の際の介助ができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間: 30分, 高齢者の特徴について復習のこと。 復習時間: 30分, 実習課題で実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義・実習</p>	<p>*和 田 *鷹 巢 *門 脇 *中 澤</p>
<p>第11回 12/19(月) 第12回 12/26(月)</p>	<p>歯科診療時の診療補助 ～障害者歯科～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 障害者歯科治療時の診療補助ができるようになるための知識・技能・態度を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・フォーハンドシステムの留意点を列挙できる。 ・フォーハンドシステムでのバキューム操作ができる。 【準備学修項目・時間】 予習時間: 30分, 最新歯科衛生士教本『歯科診療補助論第2版』I編3章③を読んでおくこと。 復習時間: 30分, 実習課題で実習の復習を行うこと。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 実習</p>	<p>*野 本 *遠 藤 *矢 口</p>

<p>第13回 1/13 (金)</p>	<p>歯科診療時の診療補助 ～口腔外科①～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 口腔外科診療の補助ができるようになるために知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・単純抜歯の使用器具・術式が列挙できる。 <input type="checkbox"/> 複雑抜歯の使用器具・術式が列挙できる。 <input type="checkbox"/> 抜歯時の患者対応について説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、歯科衛生士講座『歯科衛生士のための口腔外科学』第3章を参照し、単純抜歯、複雑抜歯の器具・術式について復習のこと。 復習時間：30分、講義内容を実習時の経験と照らし合わせて復習すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義 *1/16 (月)は歯科保健指導論に振り替える</p>	<p>*濱野</p>
<p>第14回 1/20 (金)</p>	<p>歯科診療時の診療補助 ～口腔外科②～</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 口腔外科診療の補助ができるようになるために知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・外来手術について説明できる。 <input type="checkbox"/> 止血法について説明できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：30分、歯科衛生士講座『歯科衛生士のための口腔外科学』第3章を読んでおくこと。 復習時間：30分、講義内容を実習時の経験と照らし合わせて復習すること。 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 講義 *1/23 (月)は歯科保健指導論と振替える</p>	<p>*濱野</p>
<p>第15回 1/30 (月)</p>	<p>平常試験・解説</p>	<p>臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 【授業の一般目標】 国家試験に対応するために歯科診療補助論全般に関する知識を修得する。 【行動目標 (SB0s)】 ・講義・実習で得た知識をアウトプットし、修得したことを確認できる。 【準備学修項目・時間】 予習時間：歯科診療補助論IV全範囲の復讐 (180分) 復習時間：特に間違った個所の復習を行うこと。 (60分) 【アクティブラーニングの有無】 無 【学修方略 (LS)】 平常試験および解説講義</p>	<p>*和田 *鷹巢</p>